

Sunフロア Eレジモルクリヤー(新)

厚膜2液形エポキシ樹脂床用塗料

- 規格表示 —
- 特徴
- 工場床や倉庫床等の屋内コンクリート床に適しております。
 - SunフロアEレジモル工法の樹脂モルタルとして使用します。
 - 耐アルカリ性、付着性にすぐれています。
 - 重量物の通路等に適しており、優れた接着性と耐久性を発揮します。
 - 耐衝撃性・耐摩耗性に優れています。

塗料性状

		塗料液(主剤)	硬化剤S型	硬化剤W型		
色		淡黄色	淡褐色	淡褐色		
密度(g/cm ³)(23°C)		1.08(混合液)				
光沢		つや有り				
引火点		154°C	132°C	130°C		
発火点		200°C(参考値)	—	—		
消防法表示	化学名	合成樹脂クイヤー塗料	合成樹脂クイヤー塗料	合成樹脂クイヤー塗料		
	危険物区分	第4類 第3石油類(非水溶性)	第4類 第3石油類(非水溶性)	第4類 第3石油類(非水溶性)		
	危険物等級	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)		
有機溶剤区分		なし	なし	なし		
毒劇物表示		—	—	—		
有害物表示		エポキシ樹脂	脂肪族ホリアミン	脂肪族ホリアミン		
ホルムアルデヒド 放散等級	登録(認証)番号	A05041				
	区分表示	F☆☆☆☆				
	問合せ先	http://www.toryo.or.jp/				
国連/指針番号		1263/128	2735/153			
環境性能	クロルピリホス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	0.05%
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラエカン	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアゾノ	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず		
TVOC		1%>				

- 塗料性状に記載の数値は、全て代表的は色相、つやを想定しています。
- 硬化剤には硬化剤S型、硬化剤W型の2種類があります。気温15°C以上の場合: 硬化剤S型を使用、5~15°C以下の場合: 硬化剤W型使用。塗料液は主剤と読み替えて下さい。

塗装基準

- 混合 : 2液形のため、「塗料液(主剤): 硬化剤=5:2(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- 荷姿 : 14kgセット(塗料液(主剤): 硬化剤=10kg:4kg)
- ポットライフ : S型 30分(23°C) W型 20分(23°C)
- 希釈剤 : 無希釈
- 塗装方法

塗装方法	こて塗り
希釈率	—
使用量	10.00~11.00kg/m ² /回 1コートのみ

- 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- 使用量は珪砂を含んだものです(珪砂5号/珪砂6号/SunフロアEレジモルクリヤー(新)=30/30/7(重量比)をマルチミキサーで混合し、こてにて上記使用量で塗装します)。

乾燥時間

	5~10°C	23°C	30°C
指触乾燥	—	—	—
塗り重ね乾燥	24時間以上7日以内	16時間以上3日以内	10時間以上3日以内

- 乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
- 5~10°Cは硬化剤W型を使用した場合の塗り重ね時間、23°Cおよび30°Cは硬化剤S型を使用した場合の塗り重ね時間です。

□ 注意事項

- ・ 使用量は、塗料と珪砂を混合したものの数値です。
- ・ ワックスを使用している床面は付着阻害を起します。ワックス用はく離剤などで除去し、水洗いを十分行い十分に乾燥後、塗装してください。
- ・ 厚く塗り過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。
- ・ 軽歩行は塗装翌日から可能ですが(23℃)、車輛の走行は塗装後72時間が経過した後に行ってください。早期の使用は、塗膜が剥がれたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。
- ・ 塗料液と硬化剤を混ぜたものを缶の中に入れてそのままにしておく、急激に発熱し危険な状態になるおそれがあるため、速やかに床に流し施工してください。残った場合は発熱防止のため水を10cmほど張ってください。
- ・ アスファルト面への塗装は、割れやにじみが発生するおそれがありますので避けてください。
- ・ 旧塗膜は除去してください。
- ・ 下地が強化コンクリートや着色コンクリートの場合は、付着性向上のため研削機を用いて、下地表面を物理的に目粗ししてください。
- ・ 常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- ・ 常時水がかかると可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、Sunフロアエレゾモルキヤー(新)を使用した塗装仕様で塗装してください。
- ・ 下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- ・ 下地コンクリート表面のレタンス、エフロッセンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合は、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。
- ・ 軽量コンクリート(いわゆるシンダーコンクリート)には塗装しないでください。
- ・ 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・ 下地コンクリートに水たまり等がある場合、ウエス等で拭き取り、ガスバーナー等で強制的に乾燥させてから塗装してください。
- ・ 水勾配は必ず下地コンクリートでとってください。
- ・ 植物油、鉱油等がしみ込んでいる場合、中性洗剤にて洗浄し、研削機にて研磨処理を行ってから塗装してください。
- ・ 空缶を用意し、必ずダブルミキシングを行ってください。(シングル攪拌の場合、缶の縁が規定配合で攪拌されていないため。)
- ・ 材料は5℃以上で保存してください。また、夏場の保管では使用材料が高温にならないよう注意してください。
- ・ 材料はセット練りを基本とし、やむを得ず小分けする場合には内容物を十分に攪拌均一化した後に秤量して分けてください。
- ・ 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・ 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりがりや作業性が低下することがあります。
- ・ 施工に関しての詳細な注意事項は標準施工仕様書をご参照ください。
- ・ 室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮お願い致します。
- ・ 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・ エポキシ樹脂系ですので、皮膚に付着するとかぶれを引き起こすおそれがあります。肌に付着しないよう特に注意してください。
- ・ 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・ 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用してください。
- ・ 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・ 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・ 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。

Sunフロア Eレジモルクリヤー(新)
厚膜2液形エポキシ樹脂床用塗料

□ 成分表

(塗料液(主剤))	エ	ポ	キ	シ	樹	脂	98
	添		加			剤	2
	合					計	100

(硬化剤)	変	性	脂	肪	族	ポ	リ	ア	ミ	ン	100
	合									計	100

(混合比) 14kgセット(塗料液(主剤)/硬化剤)=10kg/4kg)

□ 性能表

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき堅い塊がなく一様である。	合格
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
耐摩耗性	規定回転数当たりの磨耗減量30mg以下。	合格
耐衝撃性(デュボン式)	衝撃による変形で塗膜に割れ・はがれを生じないものとする。	合格
耐水性	6時間水に浸したとき異常がない。	合格
耐アルカリ性(水酸化カルシウム飽和溶液)	6時間アルカリに浸したとき異常がない。	合格
ホルムアルデヒド放散量	F☆☆☆☆:0.12mg/L以下	合格

・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。